

5班 つくし・戸沢

タイムライン作成のためのワークシート

ダム・土石流

警戒レベル	基準（どのタイミングで、どんな基準に従うか）	活動内容（誰が、どのようなことをするのか）	上田市からの避難情報発令	気象庁等の情報	住民等がとるべき行動等（上田市による）
1				早期注意情報 （警報級の可能性）	最新情報に注意 災害への心構えを高める
2	警報発令され、プラス長小雨量計連続で、150mmを超えたら、自治会長により、役員、自治消防隊役員集合	公民館開所自主避難者受入 情報収集、呼びかけ ・要援護者に避難準備を促す （民生委員福祉推進員） リュック（非常持ち出し）を玄関に ・避難所の情報を自治会住民に伝える （公民館、特定避難所） 「直ぐに避難出来る準備」		・大雨警報 ・洪水警報 ・氾濫警戒情報	自らの避難行動を確認 ・避難場所 ・避難方法
3	つくし集会所近く 川河護岸1m水位が上がったら自治会長へ連絡 雨量・時間 （30mm）超えたら 長小雨量計連続200mm、大雨情報	自治会長→連絡網で（たすけあいマップ）連絡 各自声かけ 避難所の開設 高齢者等避難補助 ・高齢者等を連れて避難所へ（組合） ☆この時避難を開始した事を行政、消防団に連絡 天候によって避難の方法が違う 「全員避難」	高齢者等避難	・大雨警報 ・洪水警報 ・氾濫警戒情報	●危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等：避難を完了させるのに時間を要する住宅又は施設利用者の高齢者及び障害のある人等、及びその人の避難を支援する者
4		消防団との協力が必要な場合の連絡先を明確しておく	避難指示	氾濫危険情報	●危険な場所から全員避難
5	基本的に戸沢公民館避難	自主消防隊と人命・災害状況把握	緊急安全確保	・大雨特別警報 ・氾濫発生情報	●命の危険 直ちに安全確保！

課題

- ・3以上発生は、自治会長より消防団と連携する
- ・戸沢公民館以外の移動（中央公民館等）手段について
- ・情報の周知（自治会員）方法、LINEやサイレン、声掛け
- ・避難マップの作成

土嚢袋により道路冠水を防ぐ事は必要

道路に石が流れ出るのを防ぐ

◎「防災懇談会」を行う事で出てくる課題がある

課題

1. 発災時をシュミレーションした訓練する
2. 避難場所として使える場所を企業を含め再検討
3. 在宅避難の方法を学ぶ
4. ライフラインストップ時を考えた備え
5. 避難弱者に対してどうするか、要援護者登録制度の見直し
6. 避難の目安となる印を橋に塗記する

（神川は県管理なので可）